

出会い・紡ぐ～地域とともに

奥井海生堂

蔵園(くらがこい) 昆布の誕生

昆布は収穫後、天日で干し、切りそろえ、種類によっては幾重にも折りたたみ、出荷までに大変な手間と時間が掛かります。夏に収穫された新昆布が蔵園に届くのは既に晩秋。昔は冬に荷運ぶのが不可能だったため、蔵園で荷揚げされた昆布は荷役蔵でそのまま越冬させ、春に出荷する事が多かったようです。春になり、蔵の昆布を口にしてみると、新昆布の持つ

荒々しさ、磯臭さが抜けて美味しい。蔵で寝かせるうちに雑味が消え、昆布本来のうま味が際立ったのです。これが「蔵園(くらがこい)昆布」の起こりです。蔵園昆布とは、蔵園の地理と気候条件により誕生したもので、しかも、交通事情が良くなり冬に輸送も可能になると、蔵園の手法は廃れていきます。蔵の整備や資金面で膨大な費用、長い年月管理する人の手間等を考慮すると、高価な昆布を在庫として持つことは、大きなリスクを抱えることになり、カビが発生し、価値が無くなることさえあるためです。今やほとんど見られなくなりましたが、奥井海生堂の蔵園昆布は本物を追求する京の名料理などで、今でもなくてはならない味として使われています。



六花亭製菓

マルセイバターサンド 味の秘密

1968年、ホワイトチョコレートで日本で初めて作ったのが、六花亭製菓(当時の社名は帯広千秋庵製菓)の先代、故・小田豊四郎氏。当初はあまり売れなかったのですが、旅行にきた若者の口コミで全国に広がっていき、六花亭に商号を変更し、北海道全域で販売を開始。それを記念して販売したのが、今や全国に名を知られる銘菓「マルセイバターサンド」です。実はこのマルセイバターサンドには、六花亭らしさを織り込むホワイトチョコレートを使っており、味

や風味を引き立てるだけでなく、差別化も図っています。販売を開始した後も折々に改善。食品添加物は使わず最上の原料を使うこだわりは、今も昔も同じです。毎日たくさんのお菓子を製造していますが、お客様が召し上がるのはその中の1つ。「口に合わない」「いつも味が違う」と、どんな理由でも満足頂けない場合は、返金や交換を行う満足保証制度を導入しています。ただ、購入後もほとんど使われたことはありません。また、同社では「1人1日1情報」という取り組みを行っています。これは社員全員がその日の仕事や生活の中で感じたこと、仕事の提案などを書き記すことです。社長が翌日の午前中掛けてすべての情報に目を通し、選ばれた120枚が社内日報に掲載されます。職場や商品の改善はもちろん、社員やる気を引き出す一助となっています。



高木

福井と北海道のつながりが今更で、少し確認してみたい。福井と北海道は、明治以降に福井からの移住者も多く、北前船による交易も盛んでした。福井からは米や日用品が渡り、北海道からは海産物が福井を経由して京や大阪に運ばれました。内海の日本海は比較的安定した航路のため、西回り航路が発見されるまでは教養は交易の要所でした。



奥井 隆 (おくい たかし)

株式会社 奥井海生堂 代表取締役社長

明治4年に教養で創業。大日本水産会理事、北大路善山人が主催する料理に取られるなど、高級料理を提供している「奥井海生堂」の4代目社長。日本の食文化の継承と発展のため、日本各地で食文化を伝えているほか、私の料理学校「コルドブルー」や本校など海外でも講演活動を行っている。

食文化普及へ海外とも交流

で、遠征に同県出身の哲学者、西田幾多郎氏がおられるお聞きします。今は北海道を代表する企業の1つとして、全国に知られるマ

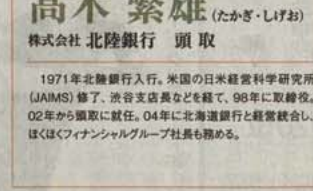
地域活性化と文化振興へ貢献

高木 なるほど、北陸銀行も同じですね。私が頭取に就任したときは、経営的に厳しい時期だったので、業の範囲に厳しめにはなく、買

北陸銀行

福井で最初の銀行 志は今も

もともとは1877年に北陸3県で最初に誕生した銀行で、これまでに60以上の銀行との統合を経て発展してきました。福井では現存する中で最初の銀行だった武生第五十七国立銀行も合併したため、福井で最も古い銀行といえます。福井で最も古い銀行といえます。福井で最も古い銀行といえます。



高木 繁雄 (たかぎ しげお)

株式会社 北陸銀行 頭取

1971年北陸銀行入行。米国の日米経営学研究所(JAIMS)修了。滋賀支店長を経て、98年に取締役、02年から頭取に就任。04年に北陸銀行と経営統合し、ほくほくフィナンシャルグループ社長も務める。

地域とともに 生きていく

かつて北前船航路によって密接につながっていた福井と北海道。それぞれの地で独自の経営手法で頑張りながら文化の発展にも寄与している福井加工・卸・販売の奥井海生堂(教養市)の奥井隆社長、お菓子の製造販売の六花亭製菓(北海道帯広市)の小田豊社長、そして2つの地域を支えてきた北陸銀行の高木繁雄頭取の3者による懇話が行われ、北前船航路や昆布・米・小麦などの歴史をひも解きながら、これからの地域企業の在り方について話を進めました。

奥井 小田さんとは全国に名の知れたお菓子づくりが、私も、東京の百貨店の方が出店のお話をされたに由来で、お断りになったという理由が、北海道に歩



お菓子に土地と人への思い

小田 豊 (おだ たか)

六花亭製菓株式会社 代表取締役社長

父である先代が始めた六花亭製菓の2代目社長。帯広の菓子文化を継いだ先代の意志を継ぎ、ホワイトチョコレートやマルセイバターサンドなど、北海道ならではのお菓子づくりにこだわる。約14万5000平方メートルの敷地に美術館やレストランが点在する「中札内美術館」など、十勝の文化を盛り上げることに力を注いでいる。

奥井 私、私が北海道に行ったとき、まだ小田さん知らないのですが、中札内美術館を偶然通りか

ほくほくフィナンシャルグループ Hokuhoku Financial Group

給与振込 または 年金受取で 先着10,000名さまに クオカード500円分プレゼント!

期間中、北陸銀行で給与振込または年金受取を新規にご指定いただくと、先着10,000名さまにクオカード(500円分)をプレゼントいたします。

○「ほくほくポイント倶楽部」会員の方が対象となります。

さらに期間中、左記の条件に加え

- ① クレジットカード^{※1}
- ② カードローン^{※2}
- ③ 公共料金の自動支払い^{※3,※4}
- ④ 税金の口座振替^{※5}
- ⑤ ほくほくダイレクトA

のいずれかを契約いただいた方には

2つのチャンス!

※1 JCB北陸カードまたは北陸VISAカード、※2 NOWスペシャル含む、※3 「電気」「ガス」「水道」「ガス」の口座振替を指します、※4 同一項目の口座の振替は、1取引としてカウントいたします。

チャンス1 先着5,000名さまに クオカード500円分をもう1枚プレゼント!

チャンス2 抽選でプレゼント!

A賞	JTB旅行券 80,000円分	B賞	ポータブルDVDプレーヤー
[5名さま]		[15名さま]	
C賞			
ギフトカード JCB または 10,000円分 VISA			
[100名さま]			

(懸賞について) ●平成22年5月31日お取引終了後抽選。3万円以上の方を対象とさせていただきます。●抽選は専用の応募用紙にてお申し込みください。●抽選は0~9の1項目につき、1口お付けいたします(最大5口)。●抽選は平成22年6月下旬に実施いたします。●当選はお1人さま1本までとなります(懸賞当選はございません)。●抽選発表は賞品の発送をもって代わらせていただきます。●実際の賞品は写真と異なる場合がございます。

(ご注意ください) ●カードローン、クレジットカードには審査がございます。場合によってはご希望に添えないこともございます。●カードローンは公共料金、その他の各種自動支払いサービスで普通預金残高が不足する場合は、自動融資いたします。●クレジットカードの対象者は、ご契約者本人とさせていただきます。なおクレジットカードには年会費が必要となります(年会費はカード種類によって異なります)。●ほくほくダイレクトAには月間手数料106円が必要となります。

スプリングキャンペーン 2010

【キャンペーン期間】平成22年 2月22日(月)から5月31日(月)まで

※詳しくは北陸銀行の窓口までおたずねください。

お客さまの「うれしい」を、私たちの「うれしい」に。北陸銀行